

令和 7 年 度

事業報告書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和 7 年度 事業報告書

1 事業総括

(1) 概 況

令和 7 年度は、人口減少や少子化などの影響を受けて、地域健診、母子保健、学校保健の各分野において全体的に事業量の減少が続いている。また、職域健診においても受託できなかった公務員関係の定期健康診断があったことなどから受診者数が大幅に減少した。

ア 当財団の主要な事業である地域健診は、特定健康診査の実施数は前年度並みであった。また、各種がん検診については、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診は前年度に比べ軒並み減少しており、特に胃がん検診は大きく減少した。乳がん検診・子宮がん検診は、受診間隔の関係で受診者数が多い年にあたり、受診者数の大幅な増加を期待したが、実際にはそれぞれ前年度比 103.4%、101.9%の実施率にとどまった。

イ 新潟県内の出生数に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、10,448 件を実施し、前年度比較で 94.2%の実施率であった。任意で実施している「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、今年度は 9,099 件実施した。

学校保健の尿検査は前年度比 96.9%、心臓検診は前年度比 95.3%であった。少子化の影響による児童・生徒数の自然減によるもので毎年度減少傾向にある。

ウ 職域健診では、健診機関同士の受注競争や健診施設の新設により、巡回健診、人間ドックを含む施設健診とも影響を受けているが、今年度はそれに加えて、新潟市職員、加茂市職員など公務員関係の定期健康診断を受託できなかったことが影響し、全体的に受診者数は減少した。

また、職域のがん検診においても、定期健康診断の減少に連動して全体的に前年度を下回る実施率であった。

エ 健康支援事業では、住民対象の特定保健指導を、新潟市、小千谷市、見附市、三条市、田上町で実施している。

職域での特定保健指導は、各健康保険組合の働きかけなどにより増加傾向

にある。

当財団の経営については、人口減少や少子化の影響等による事業量の減少と人件費や物価の上昇等による費用の増加により厳しい経営状況にある。

検査収益では、実施件数は減少したものの単価アップを図ったことにより、前年度に比べ約 750 万円の増収であった。健診収益では、地域健診のがん検診など単価アップにより増収となった事業がある一方で、事業所健診が大きく減少したことが影響し、約 3,500 万円の減収となった。経常収益全体としては、前年度より約 800 万円の減収となった。

経常費用では、引き続き役員報酬や管理職手当の減額、設備投資の抑制など経費節減に努めたが、人件費や公課費、修繕費等の増加が影響し、前年度に比べ約 2,100 万円の増となった。

その結果、当期経常収支は、約 2,150 万円の赤字決算となり、今後、収支均衡に向け、収益増と経費削減に取り組む必要がある。

（２）公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として7つの公益目的事業を掲げている。令和7年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための（地域）健診事業

市町村の住民を対象に実施される、公費負担による対策型の「地域（住民）健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、住民の特定健診を実施しているが、特定健診の受診者数は、前年度並みであった。

住民の結核・各種がん検診については、肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診は前年度を下回り、特に胃がん検診は大きく減少した。乳がん検診・子宮がん検診は、受診間隔の関係で今年度は受診者数が多くなる年であり、前年度と比べると乳がん検診は 103.4%、子宮がん検診は 101.9%の実施率であったが、令和5年度の受診者数には届かず、思った程伸びなかった。

イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する職域の各種がん検診などである。

当財団の職域健診では、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、実施数は毎年度実施される競争入札の結果に影響されるが、令和7年度は新潟市職員健診や加茂市職員の定期健康診断が受託できず、前年度を下回った。

人間ドックの受診者は、他の健診施設の影響を受けつつも、ほぼ前年度並みの99.4%の実施率であった。

ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県及び新潟市から委託を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。県内の出生数の推移に連動して年々減少しており、今年度は10,448件を実施し、前年度比較で94.2%の実施率であった。

任意で実施している「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、今年度は、9,099件実施し、前年度比103.2%であった。

学校保健のうち、児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に32,018件実施した。また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査（138,649件）を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。

今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「令和6年度版事業年報」を集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」を医師会と連携して開催し、引き続き県内医師の読影技能の向上に努める。

オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業

この事業は、公益目的事業の目玉の一つとして、健康診断後における保健指導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている。

新潟日報メディアシップの日報ホールで開催した、令和7年度の「第21回市民健康講座」は、76名の参加があった。

また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業

この事業は、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識の普及、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。

インフルエンザの予防接種は、今年度は新潟県警察本部職員の接種を新たに受託し前年度を上回り、112.9%の実施率であった。また、新潟大学の医療系の学生を対象とした麻疹、風疹、ムンプス、水痘の予防接種を受託したため、予防接種事業全体の実施数は前年度に比べ大きく上回り、114.9%の実施率であった。

キ 提携して業務を行う法人への協力事業

当財団は、結核予防会本部並びに予防医学事業中央会という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約 190 万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。

以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活を送ることができるよう、地域健診、職域健診、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが公益法人としての当財団に課せられた使命であると考えている。

2 個 別 事 業 の 報 告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益財団法人への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

第 1 検査事業

（1）母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マススクリーニング検査は、行政・新潟大学・県医師会（産科）の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

先天性代謝異常検査は、県内の出生数の推移に連動して毎年減少している。令和7年度は、そのうち9割近くの希望者が、希少疾患に対する付加新生児スクリーニング検査を実施している。

令和7年7月から、付加新生児スクリーニング検査のうち、重症複合免疫不全症と脊髄性筋萎縮症の検査の公費化に向けた国の実証実験に参加した。

	当年度	前年度	前年度比%
先天性代謝異常検査	10,448	11,091	94.2
付加新生児 スクリーニング	9,099	8,818	103.2

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施している。少子化による児童・生徒数の減少により、年々実施数は減少している。

貧血検査については、貧血検査を取り止めた市町村や対象学年を絞った学校があり、実施数は大きく減少した。

	当年度	前年度	前年度比%
尿検査（一次・二次）	138,649	143,138	96.9
（うち、腎臓病精密検査）	259	314	82.5
（うち、糖尿病精密検査）	30	22	136.4
貧血検査	5,315	6,258	84.9

(3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査については、令和7年度は、29,379件で前年度比95.7%の実施率であった。

	当年度	前年度	前年度比%
腸内細菌検査	29,379	30,707	95.7
食品検査	461	535	86.2
QFT検査	548	819	66.9
HPV検査	64	61	104.9
血液検査（抗体）	456	7,057	6.5

(4) その他の検査

登録衛生検査所の業務の一環として、近隣の病医院からの婦人科細胞診を受託している。

	当年度	前年度	前年度比%
病理受託検査	3, 254	3, 182	102.3

第2 健(検)診事業

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4～6月までの間に小・中・高校生対象の心臓(心電図)検診、高校1年生対象の結核(胸部レントゲン)検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。

	当年度	前年度	前年度比%
結核検診 (胸部X線検査)	30, 461	31, 277	97.4
心臓検診	32, 018	33, 585	95.3
学生健診 (大・専門学生)	11, 309	11, 784	96.0

(2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び結核・各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、結核・がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。

特定健診は、前年度並みの受診者数であった。各種がん検診では、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診は前年度を下回り、特に胃がん検診は大きく減少した。乳がん検診、子宮がん検診は、受診間隔の関係で今年度は受診者数が多くなる年であり、前年度と比べると乳がん検診は103.4%、子宮がん検診は101.9%の実施率であったが、令和5年度と比べると乳がん検診は90.9%、子宮がん検診では88.2%の実施率で、受診者数は思った程伸びなかった。

		当年度		前年度	前年度比%
		市町村数	人数		
特定健診		8	32,441	32,520	99.8
結核検診 (65歳以上・39歳以下)		19	95,304	96,095	99.2
地域がん検診	肺がん検診 (40歳以上)	19	116,291	117,183	99.2
	喀痰細胞診	11	847	981	86.3
	胃がん検診	7	12,452	13,703	90.9
	大腸がん検診	8	30,528	31,542	96.8
	乳がん検診	15	16,110	15,585	103.4
	子宮がん検診	11	10,570	10,368	101.9
	前立腺がん検診	4	3,997	4,332	92.8
骨検診		3	686	854	80.3

(3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、当財団では行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、毎年度の競争入札の結果に影響される。令和7年度は新潟市職員、加茂市職員の定期健康診断を受託できなかったことが影響し、前年度を大きく下回る受診者数であった。

		当年度	前年度	前年度比%
定期健診	巡回	16,002	21,458	74.6
	施設	12,396	12,206	101.6
特殊健診		2,763	3,068	90.1
職域がん検診	胸部検診	28,943	41,095	70.4
	胃がん検診	10,739	13,592	79.0
	大腸がん検診	13,714	14,096	97.3
	乳がん検診	3,431	4,167	82.3

		当年度	前年度	前年度比%
	子宮がん検診	4, 1 4 4	4, 5 8 3	9 0. 4
	前立腺がん検診	1, 9 4 0	1, 6 9 4	1 1 4. 5
事業所 骨検診		4 4 3	3 4 5	1 2 8. 4

(4) 人間ドック検診

成人病検診センターにおける人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）及び新潟市国保の検査項目に上乘せをして実施する併用の形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。受診者数は1日平均して15～20人程度の少人数になっている。

	当年度	前年度	前年度比%
人間ドック	3, 0 0 4	3, 0 2 1	9 9. 4

第3 健康づくり支援事業

(1) 特定保健指導

高齢者医療確保法に基づく特定保健指導は、新潟市、小千谷市、見附市、三条市、田上町からの委託による住民国保を対象にした出張の特定保健指導を実施している。新潟市では今年度からICTを利用した特定保健指導を導入しており、当財団も受託し実施している。

職域での特定保健指導では、前年度同様、一部の事業所での分割実施や各健康保険組合の働きかけなどにより増加している。

また、人間ドック受診者に対しては、受診当日の検査結果に基づく指導などを実施している。

特定保健指導の区分	当年度	前年度	前年度比%
住民対象（市町村国保）	2 0 2	1 9 1	1 0 5. 8
職域対象 （協会けんぽ、共済組合など）	2 8 2	2 4 7	1 1 4. 2
健康げんき倶楽部における 特定保健指導	1 3	8	1 6 2. 5

(2) ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は、近年ストレス

チェックを専門に安価に請け負う業者が進出し、年々受託数は減少傾向であるが、今年度は前年度並みの実施率であった。

ストレスチェック	当年度	前年度	前年度比%
ストレス検査	6, 6 9 1	6, 6 9 5	9 9. 9
医師面談指導	2 2	1 6	1 3 7. 5

(3) 生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。

イ 喫煙予防事業

令和2年6月より治療薬の出荷保留が続いており、禁煙外来は休止中である。

生活習慣病予防事業	当年度	前年度	前年度比%
糖尿病予防事業	9 3	1 2 9	7 2. 1
喫煙予防事業	0	0	0. 0

(4) 健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別の健康相談事業を行った。

健 康 相 談 の 区 分	当年度	前年度	前年度比%
人間ドックにおける健康相談	3, 0 0 4	3, 0 2 1	9 9. 4
事業所などの定期健康診断、 新潟市特定健診、労災2次健診に おける健康相談他	1, 0 3 6	1, 0 6 6	9 7. 2
メンタルヘルス相談 (産業カウンセラー対応)	1 0 3	1 1 8	8 7. 3
健康げんき倶楽部における健康相談	3 9	6 0	6 5. 0

（５）健康教育（集団）

令和８年３月に新潟日報メディアシップの日報ホールにおいて、第２１回市民健康講座を開催した。また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

ア 第２１回市民健康講座の開催

① 日 時 令和８年３月７日（土）

② 内 容

講演１ 「新潟県の医療を考えよう」

鈴木 榮一 医師（当財団会長）

講演２ 「あなたのホクロは大丈夫！？

～皮膚がんの予防から自己検診まで～」

竹之内 辰也 医師

（新潟県立がんセンター新潟病院副院長）

③ 参加者 ７６名

イ 「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において実施している「心とからだの健康づくりセミナー」は、前年度と同程度の日数を設定し、受講者は同数であった。

健康教育（集団）の区分	当年度	前年度	前年度比％
市民健康講座	７６	１３４	５６．７
健康づくりセミナー	１２１	１２１	１００．０

ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

長岡すこやかともしびまつり 2025

令和７年９月１３日（土）

（６）予防接種

大規模事業所や学校などを対象にした集団のインフルエンザ予防接種は、新潟県警察本部職員の接種を受託したことにより前年度を上回り、6,517 件実施し、前年度比 112.9%であった。また、感染症予防の一環としての医療従事者や医療系学生を対象としたＢ型肝炎・その他のワクチンの予防接種は、新潟大学の麻疹、風疹、ムンプス、水痘などの予防接種を受託したことにより、接種者数が増加した。

予防接種	当年度	前年度	前年度比%
インフルエンザ	6, 5 1 7	5, 7 7 2	1 1 2. 9
B型肝炎・その他のワクチン	2, 2 8 5	1, 8 8 8	1 2 1. 0

(7) その他の支援活動

ア 身体障害者への受診対応

リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉介護施設の入所者などに対する受け入れ体制を整え、受診機会を損ねることのないよう努めている。

イ 安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認業務

新潟県より国の原子力災害対策指針に基づき、UPZ（原発から概ね半径 5 km～30 km 圏）内の住民への安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認等の業務委託を受けて、4,171 件実施した。

第4 その他関連事業

(1) 関連機関への参加協力

ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。

① 第77回結核予防全国大会参加

令和8年3月17日～18日 愛媛県

② 第70回全国予防医学事業推進全国大会参加

令和7年11月6日～7日 東京都

③ 第59回全国予防医学技術研究会参加

令和8年3月5日～6日 山口県

この研究会において、次の研究発表を行った。

○「リフト付胸部検診車の活用について ～広報活動から運用まで～」

放射線課 高橋 和範

○「一般集団における FIB-4index の生活習慣分布と

スクリーニングツールとしての有用性の検討」

検査課 齋藤 彩花

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

(2) 専門委員会等の開催

検診検査業務の精度の向上を図るとともに事業を円滑に実施するため、新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を下記のとおり開催した。

ア	肺がん検診専門委員会(隔月開催)	令和7年度	メール連絡
イ	母子関係事業懇談会	令和8年2月4日	
ウ	胸部検診読影委員会	村上地区	令和8年3月10日
		新発田地区	令和7年度 開催なし
		三条地区	令和7年度 資料提供
エ	胃がん検診検討委員会	三条地区	令和7年度 資料提供
オ	新潟市読影医師研修会	令和8年2月7日	
カ	子宮がん検診委員会	令和8年3月3日	

(3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

令和7年度 募金額 1,903,134 円 (目標額 1,800,000 円)

3 施設設備の整備

令和7年度に実施した検診車関係やその他検査機器、建物関係などの設備投資は次のとおりである。

(1) 検診車

ア	子宮がん検診車 5号車	2,088,990 円
	県央メジカルセンターに配置している子宮がん検診車3号車の老朽化のため、代替車として、J A新潟厚生連より譲渡を受けた。	
イ	胃部レントゲン車 E-51号 トランスミッション交換	2,103,981 円
ウ	胸部レントゲン車 D-7号 発電機修理	972,444 円
	小計	<u>5,165,415 円</u>

(2) 医療機器・備品

ア	成人病検診センター	胃部レントゲン装置	管球交換	3,069,869 円
イ	超音波診断装置	ARIETTA650		4,345,000 円
ウ	解析付心電計	FCP-8700		2,310,000 円
エ	コンパクト視力計	CA-1000		242,000 円
オ	デジタル身長体重計	AD-6351	2 台	474,760 円
カ	子宮がん検診車 5 号車	イグザミネーションライト 2 台		484,000 円
キ	卓上遠心機	S700T		1,023,000 円
ク	システム生物顕微鏡	BX43SP-8		895,400 円
ケ	IJ 複合機	LX10050M	スタンダード	1,936,000 円
コ	IJ 複合機	LM-C4000	スタンダード	865,150 円
サ	ディスクパブリッシャー			858,000 円
シ	レジスター	MA-700-20-R	3 台	157,740 円
			(5 年リース全体	788,700 円)
ス	A E D	3 台 (成人病検診センター、県央メジカル、中越メジカル)		617,100 円
セ	成人病検診センター	3 F スタッフルーム	エアコン	605,000 円
			小計	17,883,019 円

(3) システム関係

ア 代謝異常検査システム V3 更新 2,638,900 円

イ 代謝異常検査システム更新用サーバー 1,001,000 円

ウ デスクトップパソコン 43 台
ノートパソコン 17 台 6,381,496 円

小計 10,021,396 円

(4) 建物附属設備

ア 本館 増圧給水ポンプ交換 3,190,000 円

小計 3,190,000 円

(5) 車両運搬具

ア 学校検尿回収用車両 ダイハツ ミライース 441,440 円
スズキ アルト 541,080 円

小計 982,520 円

(1) ~ (5) 合 計 37,242,350 円

(6) 設備投資に伴う長期借入金の償還

ア TAK 基幹システム入替用長期借入金

① 借入先 第四北越銀行県庁支店

② 当年度中の償還額 14,160,000 円

③ 長期借入金残高 42,520,000 円 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

4 法人運営の状況

(1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

ア 理事会

- | | | | |
|-------------|------|----------|---------|
| ① 第27回定時理事会 | 令和7年 | 5月30日(金) | 本館4階会議室 |
| ② 第23回臨時理事会 | 令和7年 | 9月30日(火) | 本館4階会議室 |
| ③ 第28回定時理事会 | 令和8年 | 3月26日(木) | 本館4階会議室 |

イ 評議員会

- | | | | |
|--------------|------|----------|---------|
| ① 第14回定時評議員会 | 令和7年 | 6月17日(火) | 本館4階会議室 |
|--------------|------|----------|---------|

(2) 監査報告

令和8年5月13日(水)に行われた監事監査の結果、令和7年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。

令和7年度 検査・健（検）診・健康づくり支援 事業状況

事業区分			令和6年度	令和7年度			前年度比較	
			(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B(%)	C/A(%)	
検 査 事 業	母子保健	先天性代謝異常検査		11,091	10,100	10,448	103.4	94.2
		付加新生児スクリーニング		8,818	8,500	9,099	107.0	103.2
	学校保健	尿検査		143,138	140,300	138,649	98.8	96.9
		(再掲)	1次検査	128,367		124,188		96.7
			2次検査	4,183		3,716		88.8
			腎精検	314		259		82.5
			糖精検	22		30		136.4
			大学	10,252		10,456		102.0
		貧血検査(小児生活習慣病含)		6,258	6,000	5,315	88.6	84.9
	感染症	腸内細菌検査		30,707	31,000	29,379	94.8	95.7
		食品検査		535	550	461	83.8	86.2
		QFT検査		819	1,000	548	54.8	66.9
		HPV検査		61	90	64	71.1	104.9
		抗体価検査		7,057	8,350	456	5.5	6.5
	受託	病理(開業医・他健診機関)		3,182	3,200	3,254	101.7	102.3
健 診 事 業	学校保健	結核検診(高1年生・大・専門学生)		31,277	31,000	30,461	98.3	97.4
		心臓検診(小・中・高生)		33,585	34,000	32,018	94.2	95.3
		学生健診(内科含む高・大・専門学生)		11,784	11,000	11,309	102.8	96.0
	地域 検 診 (巡回健診)	特定健診		32,520	33,000	32,441	98.3	99.8
		(再掲)	全部委託	29,890		29,933		100.1
			一部委託	2,630		2,508		95.4
		肝炎	特定・単独	1,338	1,500	1,157	77.1	86.5
		前立腺がん	特定・単独	4,332	4,350	3,997	91.9	92.3
		糖負荷試験		49	100	18	18.0	36.7
		胸部 検 診	結核検診	96,095	96,000	95,304	99.3	99.2
			肺がん検診	117,183	117,000	116,291	99.4	99.2
			喀痰細胞診	981	1,100	847	77.0	86.3
		胃がん検診		13,703	13,800	12,452	90.2	90.9
		大腸がん検診		31,542	32,000	30,528	95.4	96.8
		乳がん検診		15,585	17,500	16,110	92.1	103.4
		(再掲)	マンモグラフィ1方向撮影	13,298		14,082		105.9
			マンモグラフィ2方向撮影	2,287		2,028		88.7
		子宮頸がん検診		10,368	12,000	10,570	88.1	101.9
		骨粗しょう症検診		854	1,000	686	68.6	80.3

事業区分				令和6年度	令和7年度			前年度比較
				(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B(%)	C/A(%)
健 診 事 業	職 域 検 診	巡 回	一般健康診断(巡回健診)	21,458	17,000	16,002	94.1	74.6
			その他の健診・検査	4,759	12,000	5,319	44.3	111.8
		施 設	ホール健診	12,206	11,500	12,396	107.8	101.6
			その他の健診・検査	3,261	3,300	7,263	220.1	222.7
			人間ドック	3,021	3,200	3,004	93.9	99.4
		各 種 検 査 ・ が ん 検 診	特殊健診	3,068	2,700	2,763	102.3	90.1
			胸部検診	41,095	35,000	28,943	82.7	70.4
			喀痰細胞診	413	600	414	69.0	100.2
			胃がん検診	13,592	11,000	10,739	97.6	79.0
			大腸がん検診	14,096	12,000	13,714	114.3	97.3
			乳がん検診	4,167	4,000	3,431	85.8	82.3
			子宮がん検診	4,583	4,600	4,144	90.1	90.4
			前立腺がん検診	1,694	1,600	1,940	121.3	114.5
			骨粗しょう検診	345	350	443	126.6	128.4
感 染 予 防	予防接種			7,660	8,000	8,802	110.0	114.9
	(再掲)	インフルエンザワクチン接種		5,772	6,000	6,517	108.6	112.9
		B型肝炎他		1,888	2,000	2,285	114.3	121.0
総 計				748,280	741,290	711,179	95.9	95.0

事業区分			令和6年度	令和7年度			前年度比較
			(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B(%)	C/A(%)
健康支援	特定指導保健	住民健診	191	190	202	106	105.8
		職域健診	247	250	282	113	114.2
		健康げんき倶楽部	8	10	13	130	162.5
	チエツクス	ストレス検査	6,695	6,650	6,691	101	99.9
		医師面接指導	16	15	22	147	137.5
		メンタルヘルス相談	0	5	1	20	0.0
	生活防習慣	糖尿病予防事業	129	130	93	72	72.1
		喫煙予防事業	0	5	0	0	0.0
	健康相談	人間ドック健康相談	3,021	3,200	3,004	94	99.4
		定期健康診断・労災2次・新潟市特定における健康相談	1,066	1,030	1,036	101	97.2
		健康げんき倶楽部健康相談	118	120	103	86	87.3
		産業カウンセラーによるカウンセリング	60	60	39	65	65.0
	健康教育	市民健康講座	134	150	76	51	56.7
		健康げんき倶楽部健康づくりセミナー	121	130	121	93	100.0
		連携講座	31	20	0	0	0.0
		講師派遣	118	120	108	90	91.5
総 計			11,955	12,085	11,791	97.6	98.6